

## 第2章

# 東京2020 オリンピック 聖火リレー

Tokyo 2020 Olympic Torch Relay



# 1 東京2020オリンピック聖火リレー概要

## 基本情報

### オリンピック 聖火リレーとは

聖火は、平和、平等、融合、結束、友愛、統合、共有といった人類共通の理想を、見る者の心に呼び起こす。オリンピック聖火リレーは、大会の期待を高めるとともに、こういった理想のビジョンを伝える役割を果たし、オリンピックの精神および価値の純真かつ神聖なる形での表現と考えられており、聖火はオリンピック大会のすべてのシンボルの中でも最も神聖なるもの。

東京2020オリンピック聖火リレーで用いられる聖火は、ギリシャのオリンピアで太陽光から採火される。その後、オリンピック聖火はギリシャから日本国内に運ばれ、福島県をスタートし、121日間をかけて、全都道府県を巡る。

### コンセプト

## Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出します。

### エンブレム

東京2020オリンピックの大会エンブレムをデザインの起点としている。大会エンブレムを構成する3つの四角形を聖火の炎と見立て、炎のダイナミックな動きを表現している。また、日本らしさを表現するデザインモチーフとして、「拭きぼかし」という浮世絵の技法を用いた。

色彩は日本の伝統色を用いている。エネルギー、情熱的、愛情深い、行動力があるといったイメージのある「朱(しゅ)」に、大地を連想させる「黄土(おうど)」を組み合わせ、日本らしい祝祭感を醸し出す。

聖火ランナーとともに、日本の豊かな大地を駆け抜けていく聖火が、未来へと続く、「希望の道」を照らし出していく。



## トーチ

日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとしている。

### ● 伝統と現代技術の融合

日本の伝統的なかたち「桜紋」を、新幹線等の製造にも使われている製造技術「アルミ押出成形」を用いて形作っている。継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチ。

### ● 復興への想いと持続可能性への配慮

オリンピック聖火リレートーチの素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用している。人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとしてオリンピック聖火リレートーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝える。

### ● 美しく、燃え続ける炎

オリンピック聖火リレートーチは、聖火のかたちもデザインされている。花びらから生み出された5つの炎は、トーチの中央でひとつとなり、より大きな輝きで「希望の道」を照らす。聖火を灯す燃焼部には、聖火を保ち続けるために、火力の強い青い炎と火のない燃焼（触媒燃焼）の2つの燃焼により、聖火の赤い炎を支える仕組みが採用されている。

全 長：710mm  
本 体 重 量：1.2kg  
(本体約1kg+燃料部200g)  
色：桜ゴールド  
主 な 素 材：アルミニウム  
(仮設住宅由来の再生アルミニウム約30%を含む)



Photo by Tokyo 2020

## 聖火皿

到着式や復興の火の展示、そして聖火リレーの出発式や各日の最後に行うセレブレーションといった、セレモニアルな場で使用される。トーチと同じ桜の花をモチーフにしたデザインとなっている。

全 高：約1.5m  
幅：約0.8m(最大)  
重 量：約200kg  
燃 料：プロパンガス  
主 な 素 材：アルミニウム  
(仮設住宅由来の再生アルミニウム約30%を含む)



Photo by Tokyo 2020

## ランタン

ギリシャ・オリンピアで採火された聖火を大会開催国に運ぶため、また聖火リレーが行われる市区町村間の車両移動の際などに使用される。聖火の炎は、聖火リレーが行われていない間の移動時、炎が消えないよう、ランタンへ移される。

全 高：約30cm  
直 径：約9cm  
重 量：約1.8kg  
燃 料：灯油  
主 な 素 材：真鍮



画像提供:Tokyo 2020

## ユニフォーム

一人ひとりの聖火ランナーによって紡がれた1本の希望の道が、聖火によって照らされ、オリンピック本番へ向かっていく様を、胸の中央にあしらったエンブレムを起点に、大会ルックの市松模様を介して、背中のオリンピックシンボルにつなげることによって表現している。斜めがけのデザインは櫻(たすき)がモチーフ。



Photo by Tokyo 2020

## 聖火採火式・引継式・到着式等

### 採火式

2020(令和2)年3月12日、古代オリンピック発祥の地であるギリシャ・オリンピアのヘラ神殿跡で行われた。古代の衣装に身を包んだ巫女が、凹面鏡で太陽光を集めて採火し、第1走者のトーチに点火。第2走者として、2004年アテネオリンピック女子マラソンで金メダルを獲得した野口みづき<sup>のぐち</sup>さんが日本人最初の聖火ランナーとして走行した。



(上) 第1走者を務めた射撃のギリシャ代表アンナ・コラカキ選手から聖火を引き継ぐ野口みづきさん

(右) ギリシャで東京2020オリンピックの聖火を掲げて走る野口さん

写真提供:共同通信社

※ギリシャ国内で12日から19日までの8日間、聖火リレーが行われる予定となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、13日の途中でリレーは中止となった。

### 引継式



(右) ギリシャ・オリンピック委員会のスピロス・カプラロス会長から聖火が灯ったトーチを受け取る井本直歩子さん

2020年3月19日、ギリシャで採火された東京2020オリンピックの聖火を(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(東京2020組織委員会)に引き継ぐ式典がギリシャ・アテネのパナシナイコスタジアムで行われた。1996年アトランタオリンピック競泳代表の井本直歩<sup>いもと なおこ</sup>さんが、聖火を受け取った。



写真提供:共同通信社

## 到着式

東京2020オリンピックの聖火は特別輸送機で日本に運ばれ、2020年3月20日、宮城県東松島市の航空自衛隊松島基地に到着した。到着式には共にオリンピック3連覇を達成した柔道男子の野村忠宏さんとレスリング女子の吉田沙保里さんが参加した。



(上)東京2020オリンピック聖火を載せ、宮城県東松島市の航空自衛隊松島基地に到着した特別輸送機「TOKYO2020号」



写真提供:東京2020 / 共同通信社

## 復興の火

「復興の火」の展示は復興オリンピックの趣旨を踏まえ、東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプトである「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」に沿い、東日本大震災から10年目に、東京2020オリンピック聖火リレーの一環として実施された。復興に力を尽くしている被災地の方々に、ギリシャで採火した東京2020オリンピック聖火をリレーに先立ち見ていただけるよう、2020年3月20日から3月25日まで、宮城県、岩手県、福島県の順番で各2日間「復興の火」として展示された。

### ●「復興の火」展示概要

2020年3月20日(金・祝): 宮城県石巻市「石巻南浜津波復興祈念公園」

3月21日(土) : 宮城県仙台市「仙台駅東口エリア」

3月22日(日) : 岩手県「三陸鉄道・SL銀河車内(宮古駅～釜石駅～花巻駅)」

3月23日(月) : 岩手県大船渡市「おおふなぼーと」

3月24日(火) : 福島県福島市「福島駅東口駅前広場」

3月25日(水) : 福島県いわき市「アクアマリンパーク」



石巻南浜津波復興祈念公園



三陸鉄道・SL銀河車内  
(宮古駅～釜石駅～花巻駅)



福島駅東口駅前広場

写真提供:共同通信社

2020年3月24日、国際オリンピック委員会 (IOC) と東京2020組織委員会は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により東京2020大会の延期を発表。これに伴い、3月26日から予定されていた東京2020オリンピック聖火リレーも延期されることとなった。

# 1 東京2020オリンピック聖火リレー概要

## 全国実施概要

**名称：**東京2020オリンピック聖火リレー  
**日程：**2021年3月25日(木)～7月23日(金・祝)  
 114日間(移動日を含めて121日間)  
 ※東京2020大会の延期に伴い、当初の予定から1年延期となり、右表の日程で実施

**場所：**47都道府県  
**主催：**東京2020組織委員会  
**共催：**東京2020オリンピック聖火リレー  
 各都道府県実行委員会等

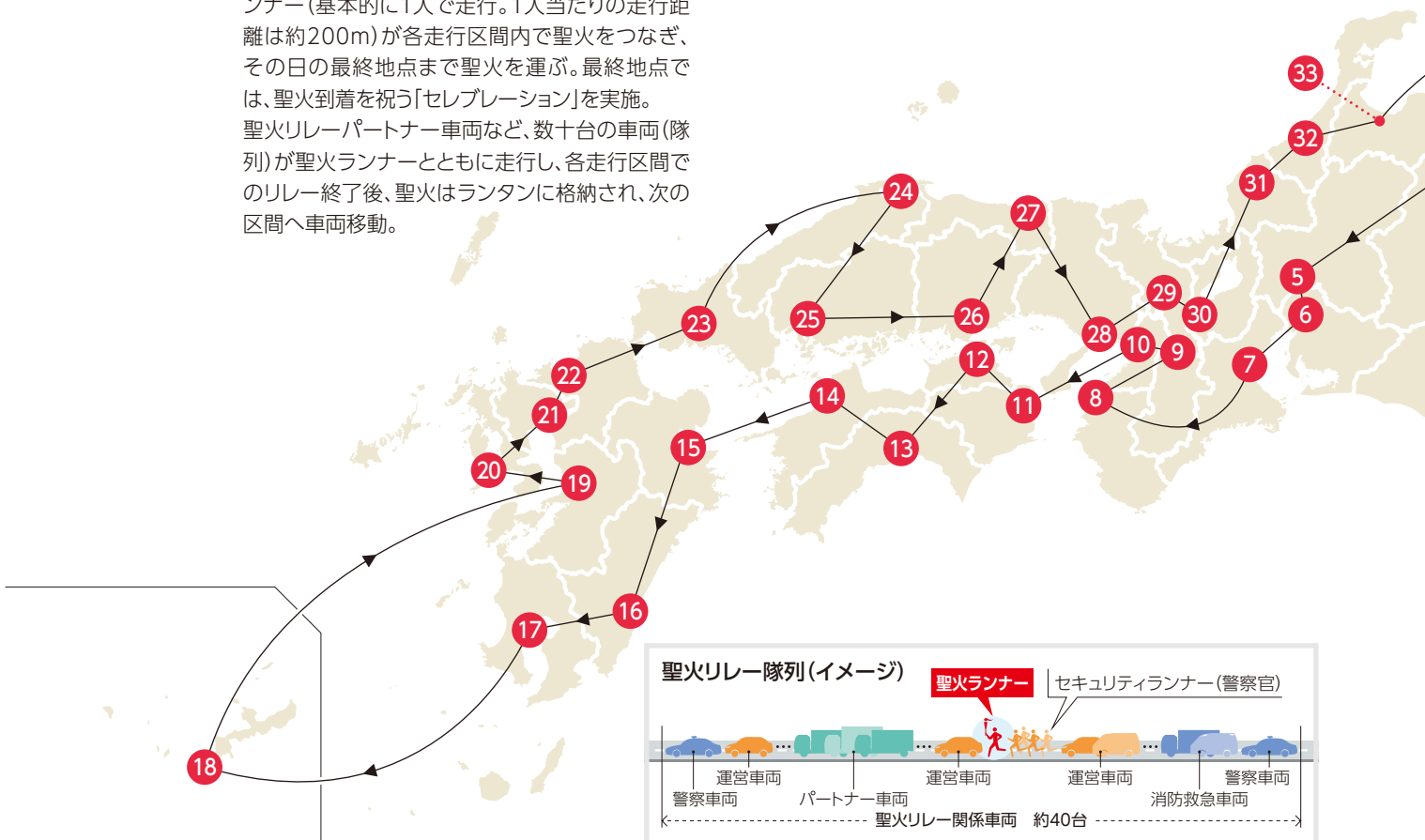
**パートナー：**

- **プレゼンティングパートナー**  
 日本コカ・コーラ株式会社  
 トヨタ自動車株式会社  
 日本生命保険相互会社  
 日本電信電話株式会社 (NTT)
- **サポーティングパートナー**  
 パナソニック株式会社  
 ENEOS株式会社  
 全日本空輸株式会社  
 日本郵便株式会社  
 日本航空株式会社
- **アソシエイトパートナー**  
 Visa  
 日本電気株式会社 (NEC)

**ランナー総数：**約10,000人  
 ※聖火ランナーは、都道府県実行委員会や聖火リレーパートナーなどからの公募または推薦により選定

**実施方法等：**1日の最初を実施される出発式から始まり、聖火ランナー(基本的に1人で走行。1人当たりの走行距離は約200m)が各走行区間で聖火をつなぎ、その日の最終地点まで聖火を運ぶ。最終地点では、聖火到着を祝う「セレブレーション」を実施。聖火リレーパートナー車両など、数十台の車両(隊列)が聖火ランナーとともに走行し、各走行区間のリレー終了後、聖火はランタンに格納され、次の区間へ車両移動。

<b>1</b> START	2021年3月25	<b>25</b> 広島	5/17～18
福島	～27日	<b>26</b> 岡山	19～20
<b>2</b> 栃木	3/28～29	<b>27</b> 鳥取	21～22
<b>3</b> 群馬	30～31	<b>28</b> 兵庫	23～24
<b>4</b> 長野	4/1～2	<b>29</b> 京都	25～26
<b>5</b> 岐阜	3～4	<b>30</b> 滋賀	27～28
<b>6</b> 愛知	5～6	<b>31</b> 福井	29～30
<b>7</b> 三重	7～8	<b>32</b> 石川	31～6/1
<b>8</b> 和歌山	9～10	<b>33</b> 富山	6/2～3
<b>9</b> 奈良	11～12	<b>34</b> 新潟	4～5
<b>10</b> 大阪	13～14	<b>35</b> 山形	6～7
<b>11</b> 徳島	15～16	<b>36</b> 秋田	8～9
<b>12</b> 香川	17～18	<b>37</b> 青森	10～11
<b>13</b> 高知	19～20	<b>38</b> 北海道	13～14
<b>14</b> 愛媛	21～22	<b>39</b> 岩手	16～18
<b>15</b> 大分	23～24	<b>40</b> 宮城	19～21
<b>16</b> 宮崎	25～26	<b>41</b> 静岡	23～25
<b>17</b> 鹿児島	27～28	<b>42</b> 山梨	26～27
<b>18</b> 沖縄	5/1～2	<b>43</b> 神奈川	28～30
<b>19</b> 熊本	5～6	<b>44</b> 千葉	7/1～3
<b>20</b> 長崎	7～8	<b>45</b> 茨城	4～5
<b>21</b> 佐賀	9～10	<b>46</b> 埼玉	6～8
<b>22</b> 福岡	11～12	<b>47</b> GOAL	2021年7月9
<b>23</b> 山口	13～14	東京	～23日
<b>24</b> 島根	15～16		



※パラリンピック聖火リレーの隊列についても同様



## グランドスタート

東京2020オリンピック聖火リレーは、新型コロナウイルス感染症の影響による東京2020大会の延期を受け、2021年3月25日、当初の予定から1年遅れで福島県のサッカー施設「ナショナルトレーニングセンター」ヴィレッジ」をスタートした。第1走者は、東日本大震災があった2011年のFIFA女子ワールドカップで優勝したサッカー日本代表「なでしこジャパン」の当時のメンバーだった丸山桂里奈さんや宮間あやさんたちが務めた。



聖火リレートーチを掲げスタートする「なでしこジャパン」のメンバー

## 開会式

2021年7月23日、東京2020オリンピック開会式が国立競技場（オリンピックスタジアム）で行われ、47都道府県で1万人以上の聖火ランナーによってつながれた東京2020オリンピック聖火が、聖火台に灯された。

最終聖火ランナーはテニス女子のおおさか選手が務めた。大坂選手は、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県でスポーツに励む小・中学生の皆さんから聖火を受け取った後、聖火台へと続く階段をゆっくりと上り、笑顔で点火した。



写真提供:共同通信社